

# 中小企業景況調査結果 (平成27年10~12月期)

## 中小企業の業況は、持ち直しの動きが見られる

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成27年10~12月期実績と平成28年1~3月期見通しについての調査結果(回答数87社、回答率87%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

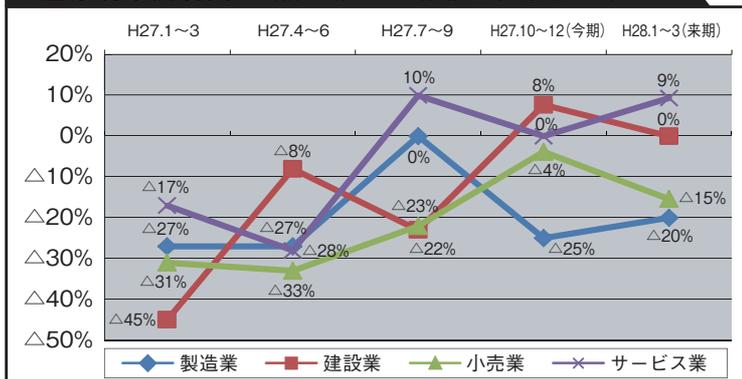
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲8%から▲5%とマイナス幅が縮小した。業種別にみると、製造業が0%から▲25%へ大幅に低下、サービス業は10%から0%に低下したものの、来期は9%と持ち直しの動きが見込まれる。建設業が▲23%から8%に、小売業も▲22%から▲4%に大幅に回復した。消費税増税後の買い控えの反動もあり前年比プラスが持続している。個人消費は、天候要因などで幾分弱さはみられるが、基調としては緩やかに回復している。従業員数は▲4%から1%に改善されているが、建設業は8%から▲8%に悪化し、熟練技術者の確保難で人手不足感が続いている。

経営上の問題点については、『需要の停滞』が多く挙げられており、今期も解消されていない。小売業は、「大型店・中型店の進出による競争の激化」、サービス業は、「店舗施設の狭溢・老朽化」が新たな問題点となっている。

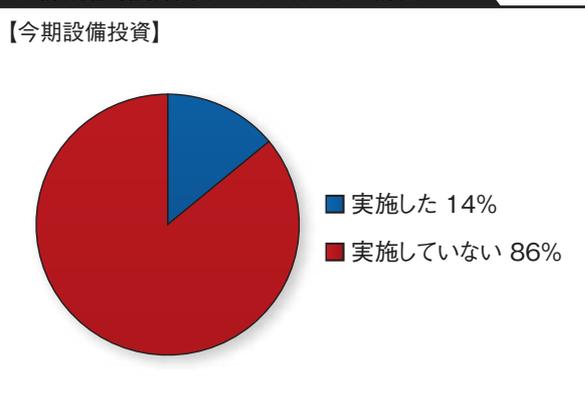
### ◆業況DI値(今期の状況)

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	▲5%	↗	▲1%	↘	▲2%	↗	27%	↘	▲12%	↘	1%	↗
製造業	▲25%	↘	▲8%	↗	0%	↘	55%	↘	▲17%	↘	0%	↗
建設業	8%	↗	8%	↗	▲8%	→	15%	↘	▲8%	↗	▲8%	↘
小売業	▲4%	↗	8%	↗	4%	↗	23%	↘	▲15%	→	12%	↗
サービス業	0%	↘	▲3%	→	▲3%	→	19%	↘	▲6%	↘	▲6%	↗

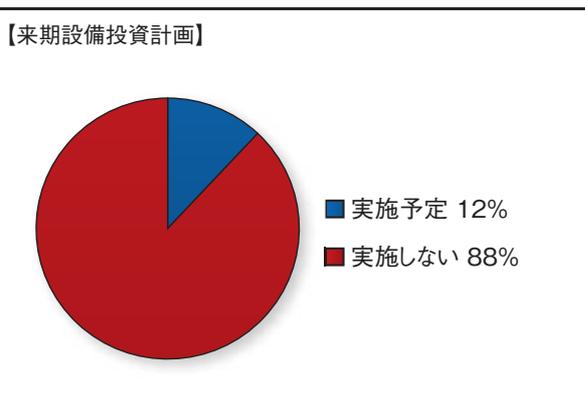
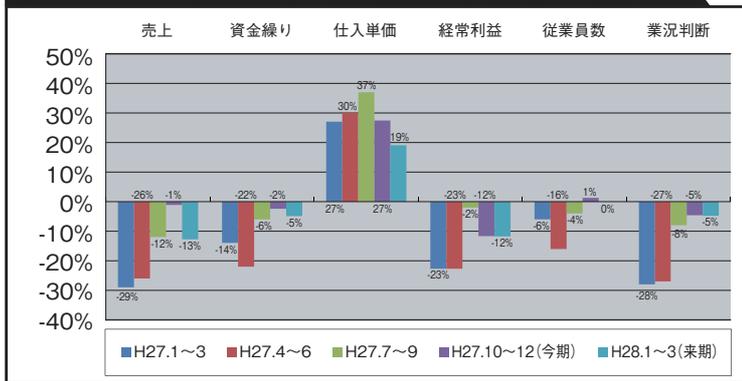
### ◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)



### ◆新規設備投資(今期実施・来期計画)



### ◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



### ◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 25.0%	官公需要の停滞 18.2%	需要の停滞 22.1%	店舗施設の狭溢・老朽化 14.5%
2位	原材料価格の上昇 21.4%	民間需要の停滞 18.2%	購買力の他地域への流出 13.2%	従業員の確保難 14.5%
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難 14.3%	熟練技術者の確保難 12.1%	大型店・中型店の進出による競争の激化 8.8%	利用者ニーズの変化への対応 13.2%

※DIとは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。